

第15回

室内楽演奏会

2016年11月30日(水)

18時45分(開場18時15分)

Wed. 30 Nov. 6:45 pm (Doors open at 6:15 pm)

東京大学教養学部
駒場コミュニケーションプラザ
北館2階 音楽実習室

College of Arts and Sciences, The University of Tokyo,
Music Practice Room,
Komaba Communication Plaza, North Bld. 2F

■東京大学の学生・教職員、および駒場友の会会員・会友限定

■入場無料 定員120名 全席自由

■事前に予約が必要です。受付開始10月31日(月)

学生・教職員の方は、駒場博物館の窓口(10-18時)で
学生証・職員証を提示して、入場券をお受け取りください。
駒場友の会会員・会友の方は、以下のメールアドレス宛に
お申し込みください。

tomonokai@post.c.u-tokyo.ac.jp

演奏会当日は、入場券と学生証・職員証・会員証・会友証
をご携帯ください。

Program

リコーダーとチェンバロによる 17世紀、18世紀の名曲選

A. スカルラッティ：トッカータ ト短調

A. Scarlatti (1660-1725): Toccata in sol minore

D. カステッロ：ソナタ 2番

D. Castello (17世紀): Sonata op. 2

G. フレスコバルディ：

カンツォン 第3番「ラ・ベルナルディーナ」

G. Frescobaldi (1583-1643): Canzon 'La Bernardina'

G. B. フォンターナ：ソナタ 第2番

G. B. Fontana (1630年頃没): Sonata op. 2

J. ブル：ラムレイ卿のパヴァースとガリアルド

J. Bull (1562-1628): Lord Lumley's Pavan & Galliard

F. マンチーニ：ソナタ 第1番 ニ短調

F. Mancini (1672-1737): Sonata op. 1 in re minore

J. Ph. ラモー：やさしい嘆き

J. Ph. Rameau (1683-1764): Les Tendres Plaintes

D. スカルラッティ：

ソナタ K. 27 アレグロ、K. 427 プレスト

D. Scarlatti (1685-1757):

Sonata K. 27 Allegro, K. 427 Presto

G. Ph. テレマン：リコーダーとオブリガート・

チェンバロのための協奏曲 ニ短調

G. Ph. Telemann (1681-1767): Concerto d-Moll

ほか



チェンバロ：水永 牧子
Cembalo: Makiko Mizunaga



リコーダー：向江 昭雅
Recorder: Akimasa Mukae

演奏者プロフィール



水永 牧子 (チェンバロ)

Makiko Mizunaga

桐朋学園大学古楽器科卒業。フライブルク音楽大学大学院に留学、同校で初めてドイツ国家チェンバロ・ソリストディプロマを取得。99年モントリオール国際チェンバロ・コンクール第2位、M. ゴネヴィルの現代作品にて最優秀賞も受賞。留学中は欧州各地で演奏。2005年東京オペラシティ・リサイタルシリーズ「B→C」、教育芸術社「平成28年度用の中学校音楽デジタル教科書」、「チェンバロDVDブック?歴史と様式の系譜?」(久保田 彰 著)に出演するなど、現在幅広く活躍中。ソロ以外では「ラ・フォンテーヌ」のメンバーとして第11回山梨古楽コンクール・アンサンブル部門第2位。2000年ブルージュ国際コンクール・アンサンブル部門第2位、併せて聴衆賞を受賞。NHK「素敵にガーデニングライフ」のテーマ音楽の編曲、演奏も手がけた。その他「アクア・トリニティ」「大泉バロック」などのアンサンブルや、各ソリストの通奏低音奏者としても活躍。01年度文化庁在外研修員。ソロのCDを5枚リリース。<http://makikos-diary.blogspot.jp>



向江 昭雅 (リコーダー)

Akimasa Mukae

国立音楽大学楽理学科卒業後、イタリアのミラノ市立音楽院古楽器科に留学。リコーダーを山岡重治、ペドロ・メメルスドルフ、音楽学を磯山雅の各氏に師事。バッハ・コレギウム・ジャパン等、ソリストとして国内の主要オーケストラへの出演多数。“レ・サンク・サンス”メンバー。リコーダー・オーケストラ「デル・ソーレ東京」、「デル・ソーレ大阪」及び「スプラウト静岡」指揮者。国立音楽大学講師。日本イタリア古楽協会運営委員。日本演奏連盟、練馬区演奏家協会会員。CDに『J. S. バッハ カンタータシリーズ / バッハ・コレギウム・ジャパン』、『フランスのリコーダー・トリオ / レ・サンク・サンス』、『うぐいす / レ・サンク・サンス』、『ベルガマスカ / レ・サンク・サンス』、『マンチーニ リコーダー協奏曲集』、『2本のリコーダーのための作品集 / 山岡重治・向江昭雅』、『A. スカルラッティ リコーダー協奏曲集』など多数がある。

駒場キャンパスの音楽活動について

1977年に、森泰吉郎氏(森ビル株式会社初代社長)のご寄贈によって緑に囲まれた900番教室(講堂)にパイプオルガンが設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

また、2006年秋には、スタインウェイのフルコンサート・グランドピアノが駒場コミュニケーションプラザ北館2階の音楽実習室に設置されました。音楽実習室では2007年よりオーディションによって選抜された学生による学生選抜

コンサートが開催されるなど、駒場キャンパスの音楽活動の軸となっています。こうした多彩な駒場の音楽活動は「駒場音楽振興基金」(駒場友の会)からの補助によって支えられています。皆様からのご寄付をお寄せくださいますようお願いいたします。

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部
オルガン委員会 <http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/>
ピアノ委員会 <http://piano.c.u-tokyo.ac.jp/>
Tel. 03-5454-6139 (駒場博物館)
Tel. 03-3467-3536 (駒場友の会)

